

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.04.30~05.11

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

5月1日(火)

「南部鉄器」 - 富裕層に人気
水沢鉄物協組 / 職人を育成
岩手県の伝統工芸品「南部鉄器」が、
中国の富裕層に人気だ。高級品を持つこ
とがステータスになっている。水沢鉄物
工業協同組合では、あらためて職人を育
てようとする動きもある。(2面)

虎や
桜、龍の
模様

「香港科技園」は、香港郊外にある先端企業の受け入れ施設を
拡張し、日本を含む150社の誘致を目指す

5月2日(水)

復旦大学と共同研究
富士通マーケ / 教授ら26人とプロ
富士通マーケティングは、中国の復旦
大学と提携した。統合業務ソフト「グロ
ーバル」の開発技術者と、復旦大的教授
ら総勢26人で共同研究プロジェクトを立
ち上げた。(7面)

カイロ・芳香剤で新工場
小林製薬 / 9月完成
小林製薬は、安徽省にカイロや冷却シ
ート、芳香消臭剤などを生産する新工場

を建設する。4月に現地子会社を設立、
9月完成予定。旺盛な現地需要の取り込
みを狙う。(9面)

5月3日(木)

柳沼プレス、中国工場が稼働
自動車関連部品 / 表面処理

柳沼プレス工業は、広東省清遠市の龍
湾工業区に新工場が完成、本格稼働させ
る。自動車関連部品などの表面処理を手
がける。自動亜鉛メッキと、カチオン電
着塗装を各1ライン導入した。(5面)

二次電池生産、中国に全面移管
パナソニック / 貝塚閉鎖

パナソニックは、民生用リチウムイオ
ン二次電池を生産する三洋エナジー貝塚
を2012年度内にも閉鎖する検討を始め

た。生産設備は新工場棟で量産を始める
蘇州工場に全面移管する。(7面)

5月4日(金)

旭化成、ボプラの苗8300本
モンゴルの砂漠 / 環境プロ

旭化成は、中国内モンゴル自治区のホ
ルチン砂漠で8300本のボプラの苗を植え
た。中国市民の環境保護への関心を高め
ることが目的。公益プロジェクト「樹が
待っている」の一環。(7面)

5月5日(土)

中国の新車、最速で100万台

G M / 通年の記録更新へ

米ゼネラル・モーターズは、中国での
2012年の新車販売100万台を突破した。

G M中国の社長は「6回目でかつ最も早
い時期の100万台超え。通年の販売記録
更新に向け順調」。(時事=6面)

森精機、天津に新工場

横型M C・N C旋盤 / 月産200台

森精機製作所は、天津市にN C工作機
械や周辺機器の工場を建設する。2013年
9月操業。中国で人気の高い横型M Cや
N C旋盤などを月産100台。将来は月産2
00台体制を整える。(7面)

電子部品各社、自動化を急ぐ

人件費高騰に対応

電子部品各社が、生産の自動化に取り
組む。アルブス電気は中国工場でスマート
フォン部品の増産と同時に自動化を実
施。TD Kはコイルの後工程を自動化。
中国での人件費高騰に対応。(9面)

中国の物流に新システム

しまむら / レンタル商品も「混載」

しまむらは、中国で値付けや店舗別
仕分け、梱包などを済ませ、日本のセン
ターに運び込む「直流」に新システムを
導入する。直流に不向きだったトレンド
商品も「混載直流」を始める。(15面)

富士通F I P、中国にD C

B 2サイズ対応のデジタル印刷機
(開発中ニコニカミノルタH D)



5月10日(木)

富士通F I P、中国にD C

大阪・横浜、130億円で増強

富士通F I Pは、今後2年間で、130
億円強を投じて大阪と横浜の主力データ
センターを増強する。また、中国進出も
計画中で、中国電信(チャイナテレコム)
と協議に入った。(1面)

二次電池の電解液、中国生産

宇部興産 / 年産5000t

宇部興産は、江蘇省張家港市にリチウ
ムイオン二次電池用電解液の工場を2013
年に新設する。電解液事業で協業する米
ダウ・ケミカルの現地拠点に、年産能力
5000tの生産拠点を設ける。(10面)

5月11日(金)

住友ゴム、中国向け新工場

ゴルフボール

住友ゴム工業は、インドネシアにグル

ープ企業の新工場が完成。ツーピース
(2層)構造のゴルフボールに加え、3
層、4層構造を扱う。最大市場の米国に
加え、中国などに供給する。(11面)

ひと

内陸部で巻き返す

「中国の内陸部を開拓
したい」と意気込むのは
日立工機社長の加藤清さん。沿岸部で基盤を築
いた今、内陸に力を注ぐ。
すでに西安など内陸4都市に電動工具の
営業所を新設済み。「日本から人を送り
込む」。広州に新工場を完成させた。巻
き返しに出る。(1日=5面)

空洞化は避ける

「海外売上高は増える
が、それでは不十分」と
小倉クラッチ社長の小倉
康宏さん。カーエアコン
用クラッチは中国やタイ
などでニーズが強い。だが中国や韓国勢
とのコスト競争も激しい。「地元に根付
いた企業として日本の空洞化は避ける」と
と戦略を練っている。(3日=5面)

荒波に挑む

「ただ中国に出て行く、
という時代ではなくなっ
た」とJFEコンテナ
ー社長の中島廣久さん。
中国で展開するドラム缶
事業で新戦略を練る。「競争は厳しいが
中国には投資案件があり刺激になる。淘
汰が進めば収益性も上がる」と、荒波の
かじ取りに力が入る。(11日=11面)

のF P Tソフトウェアと組んで、ベトナ
ム語に翻訳した日立の大学向け基幹シ
ステムをクラウドコンピューティング型で
現地大学に提供する。(9面)

台湾の技術拠点を増員

積水化成 / 発泡樹脂の用途開発

積水化成工業は、台湾の技術拠点を
増員する。主力の発泡樹脂製品の新しい
用途開発する。自社の技術者20人のうち
半数程度を台湾に配置する。センターの
実験設備も増強する。(10面)

インドネシア生保の出資上げ

明治安田生命

明治安田生命保険は、出資参画してい
るインドネシアの中堅生命保険会社ア
リストの出資を5%から23%に引き上
げ、持分法適用会社化にする。生保開拓
を強化し経営基盤を固める。(17面)

ミャンマーの証取・夢見る

ミャンマー政府関係者 / 東証訪問

来日中のミャンマー政府関係者が、東
京証券取引所を訪れ、東証アローズなど
を見学した。東証の齊藤惇社長らが出迎
えた。東証は大和総研とミャンマーの証
券取引所設置で合意している。(17面)

カーエアコン用クラッチ

用クラッチを増産する。約10億円を投じ
て既存工場を増築し、2012年末にも生産
能力を現在の1.7倍となる年350万台に増
やす。(5面)

M P U樹脂部品、台湾に委託

日本特殊陶業 / 収益確保できず

日本特殊陶業は、年内をめどにパソコ
ンなどの超小型演算処理装置(M P U)
向け樹脂部品の生産を、業務提携先の台
湾・南亞科技に全面委託する。自社生産
では収益確保できないと判断。(8面)

M P U樹脂部品、台湾に委託

日本特殊陶業 / 収益確保できず

日本特殊陶業は、年内をめどにパソコ
ンなどの超小型演算処理装置(M P U)
向け樹脂部品の生産を、業務提携先の台
湾・南亞科技に全面委託する。自社生産
では収益確保できないと判断。(8面)

コムニコ / 開設・運用

コムニコは、海外で参加交流型サイ
トの開設・運用事業を始める。日本企業の
進出が多い東南アジアで事業を強化す
る。2016年度までに売上高10億円を計
画、半分を海外にする。(9面)

交流型サイト、東南ア展開

コムニコ / 開設・運用

コムニコは、海外で参加交流型サイ
トの開設・運用事業を始める。日本企業の
進出が多い東南アジアで事業を強化す
る。2016年度までに売上高10億円を計
画、半分を海外にする。(9面)

エフテック、フィリピンで生産

2輪車用部品拡大

エフテックは、フィリピンで2輪車用
部品事業を拡大する。燃料タンクとフレ
ーム製品に続き、8月からアルミダイカ
スト製のエンジン用ケースカバーと各種
樹脂部品の生産を始める。(5面)

インドネシアに製造子会社

パイオラックス / 2輪車用樹脂部品

パイオラックスは、インドネシアの西
ジャワ州カラワンに自動車や2輪車用
樹脂部品を製造販売する子会社を6月に
設立する。拡大が見込まれる現地需要を
獲得する。(5面)

東芝、蒸気タービン発電受注

インド / 250億円

東芝は、インド火力発電公社とウッタ
ーラーラッジ州電力会社から石炭火力
発電所向け蒸気タービン発電設備(出力
66万キロワット2台分)を受注した。受注額は
約3億1500万ドル(約250億円)。(6面)

ベトナム語版大学クラウド

日立 / F P Tと共同

日立製作所は、ベトナムのIT最大手

5月10日(木)

次世代冷媒、インドに投入

家庭用エアコン / ダイキン工業

ダイキン工業は、インドで生産を計画す
る現地仕様の家庭用エアコンに、温暖化
係数が低い次世代冷媒のハイドロフル
オロカーボン(H F C)32を採用する。最
新技术を成長市場に投入する。(1面)

不二サッシ、マレーシアで開発

高機能アルミサッシ / S K Bと共同

不二サッシは、マレーシアの建材大手
S K Bシャッターズ・マニュファクチャ
リングと高機能アルミサッシの共同開発
で覚書を締結した。東南アジアでの供給
を検討する。(3面)

エフテック、フィリピンで生産

2輪車用部品拡大

エフテックは、フィリピンで2輪車用
部品事業を拡大する。燃料タンクとフレ
ーム製品に続き、8月からアルミダイカ
スト製のエンジン用ケースカバーと各種
樹脂部品の生産を始める。(5面)

印・インドネシアに工場

セーレン / 車内装材向け繊維製品

セーレンは、インドとインドネシアで
自動車内装材向け繊維製品を現地生産す
る。両国とも月産能力20万台、2013年8
月稼働。将来はエアバッグ向け、ファッ
ション衣料向けの生産も検討。(2面)

西島製作所インドに保守拠点

ポンブ / 発電所需要伸び

西島製作所は、インドのベンガルール
近郊にポンブのメンテナンスサービス工
場を新設する。発電所を中心メンテ需
要が伸びているため、自前の工場を持つ
ことにした。(7面)

5月11日(金)

ASEANの加盟支援

商標・意匠の国際条約 / 経産省

経産省は、商標と意匠の国際条約
で、2012年度にもASEAN各との加
盟に向けた環境整備を支援する日系企業
は国際機関を通じて複数国にまとめて出
願できるようになる。(1面)

T O W A、サムスンから受注

半導体樹脂封止装置10数台

T O W Aは、独自開発の圧縮成形モ
ード方式の半導体樹脂封止装置を韓国の
サムスン電子から10台を受注した。約20
億円。N A N D型フラッシュメモリ製
造向けに使われる。(1面)

印・インドネシアに工場

セ